



沖館川・西滝川で水質検査を実施中

当会では、沖館川が一日も早くきれいな川に甦ることの大切さを地域の人々、特に子ども達に是非知って貰いたいとの思いで、昨年9月から川の水質検査を実施しております。

これは昨年8月27日、県の地域整備部が主催した「水循環教室」に石戸谷会長・成田事務局長・寺嶋常任理事等が参加し、川水の水質検査要領について受講したことが切っ掛けとなり翌月から実施して来ているものです。



「沖館川の青森ベイブリッジ大橋方向を望む風景」

検査の方法は、まず沖館川(切島歩道橋下及び沖館橋下)の2箇所と西滝川(沖館川との合流点手前)の1箇所の計3箇所で川水(夫々約1.8ℓ)を採取し、次いでパックテストという方法で“水質分析器具”を使って調べます。それは採取した各川水に pH・COD・DO と呼ばれる3項目に対応したポリチューブ入りの薬品を作用させ、時度数値を検出し、その濃度数値で各川の水質を分析するという少しややこしい検査方法です。

pH とは、水中に含まれている水素イオン濃度が色識別図表(濃～中性～薄順)に示される数値の pH7 だと中性、それより大きい数値だとアルカリ性、小だと酸性です。河川環境基準は 6.5 以上 8.5 以下の数値となっています。

COD とは生物化学的酸素要求量のこと、数値が高いとそれだけ酸素を消費する物質が水中に沢山入っていることを示します。数値 1mg/ℓは溪流の岩魚が棲めるきれいな水、快適な水源は 3mg/ℓとされており、水道法の基準では 10mg/ℓ以下と定められています。

DO とは水中に溶け込む溶存酸素量のこと、数値 3mg/ℓ以上だと魚介類が棲めると言われ、ゼロだと水が汚れて腐敗が始まり悪臭が発生します。

当会の水質検査は、毎月の始めに成田と寺嶋が川の干潮時を選んで取水し、子ども等の協力を得るなどしてこれまでに 8 回実施しました。

因みに「各川の 8 回実施結果の平均数値」は次のとおりでした。

	pH	COD	DO
・ 沖館川(切島歩道橋下)	7.02	5.87	5.18
・ 西滝川(沖館川合流点手前)	6.43	5.68	5.00
・ 沖館川(沖館橋下)	6.81	6.43	5.87

水質検査実施



新年早々水の汚れがきになり二十年元旦に採取中の寺嶋さん



20年2月1日沖館小学校の生徒に検査に説明しながら水採集

20年3月2日検査内容について説明をし、みんなで実行して結果を見る。↓



